

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

October / 8 / 2021 # 103

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『手術、受けました』

[2] Pepeのひとりごと

『リハビリ開始』

[3] おすすめ動画

『Concerto Digital: Osesp, Giancarlo Guerrero e Joseph Alessi, obras de Chick Corea e R. Strauss』

『「空間を満たす究極の音色」全てのユーフォニアミスト達へ【BASTIEN BAUMET】【Euphonium】【ユーフォニアム】』

[4] 演奏のヒント！

『音をしっかり聴きながらのリップスラー』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『手術、受けました』

先月号の編集後記で書きましたが、先月人生初の入院と手術を経験しました。首（喉）にある甲状腺の左側を切除する手術だったのですが、入院も手術も、全身麻酔も初めての経験で、今はそれらを経て、一皮むけたような気がしています（笑）。

個室しかない病院だったので、人生初の入院生活は個室でとても快適に過ごすことができました。

入院してからは、手術の日も誰一人として面会はできなかったので、手術の日1日は、術後も家族を含め誰とも連絡が取れなかったのでモヤモヤしていましたが、無事に手術を終えることができてホッとしました。

術後しばらくは、飲み込むときに痛みがありました、それも日が経つにつれてなくなって、今はもう全くそういう痛みはありません。

術後の経過もよく、予定通り手術の4日後には退院することができて、1週間ぶりに自宅に帰ることができました。

2週間は楽器も吹けなくて大人しく過ごさないといけなかったのですが、思っていたよりも快適に楽器のない生活を満喫することができました。:)

たまに吹きたくてたまらなくなるのかなあ、と思っていたのですが、前からしばらく吹けなくなることがわかっていたからか、全く吹きたいと思うことなく、2週間が過ぎていきました。:)

毎日3回の首周りのストレッチも、ドクター、看護師さんに言われたとおり毎日続けていますし、順調に回復していると思います。

[2] Pepeのひとりごと

『リハビリ開始』

術後2週間は楽器の練習はもちろん、車の運転もしないようと言われて、かなり落ち着いた、穏やかな生活をするようと言われていました。もちろんそれらはちゃんと守って、術後（手術は9月13日でした）、2週間と少し経った9月30日に楽器を吹き始めてみました。

初めの1音を出すまでは少しドキドキしましたが、いつものように音が出て、本当にホッとしました。:)

この日は、高音域と低音域は特に違和感なく吹くことができたのですが、中音域を吹くときに喉が詰まったような感覚（吹いてるときに、誰かに喉を押しさえつけられているような感じ）があって、すごく吹きにくかったです。

これはキツイなあ・・・と正直その時は思いましたが、10分くらい吹いただけでも多少その違和感は薄れてきたような感じがあったので、日毎になくなっていくのかなあ、と思うことができました。

実際、今はもうそういう感覚はありません。:D

今は、普通に吹けるようになって、いつもの基礎トレーニングもやっていますが、長い時間吹くと喉に違和感（疲労感のようなもの？）が来ますね。

まあ、慌てないでぼちぼちとリハビリを続けていきます。 ;)

[3] おすすめ動画

『Concerto Digital: Osesp, Giancarlo Guerrero e Joseph Alessi, obras de Chick Corea e R. Strauss』

https://www.youtube.com/watch?v=deRUPDy_Xnk

今月の1つ目の動画は、先日ブラジルで世界初演された、Chick Corea氏作曲のTrombone Concertoの動画です！！

なんと、彼がTromboneのための協奏曲を作曲してくれる日が来るとは！！
なにより、委嘱をお願いしたJoe自身がこの幸運に驚いているようですね。 ;)

この動画は、このコンサートの全部のものなのですが、最初からになってしまった場合は、1時間10分くらいのところからがTrombone Concertoです。

『「空間を満たす究極の音色」全てのユーフォニアミスト達へ【BASTIEN BAUMET】【Euphonium】【ユーフォニアム】』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=_DZJ78y3cyg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4)

[v=_DZJ78y3cyg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4](https://www.youtube.com/watch?v=_DZJ78y3cyg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4)

2つ目の動画は、フランスを代表するEuphonium奏者の1人、Bastien (Baumet氏) の動画です。

先月のTuba、Fabienの動画に続いての、同じシリーズのものですね。

この動画の中では、彼が日頃の練習の中で気をつけていることなどについて話してくれています。

こうして、家にいながらにしているいろいろなスーパー・プレイヤーの練習アドバイスが聞けるのは、本当にいいですねえ。 :D ;)

[4] 演奏のヒント！

『音をしっかり聴きながらのリップスラー』

みなさん、リップスラーの練習はしていると思いますが、そのとき、音の変わり方だけに意識が向けられていませんか？
しっかり自分の「音」を聴いてやっていますか？

基本的に、リップスラーだけでなくどの練習のときでも、いい状態のときにはいい音がします。

リップスラーのときで言うと、動いているとき、一番低い音のとき、一番高い音のとき、ちょうど真ん中の音のとき、このそれぞれのときの音をしっかりと聴いてみてください。

どこかムリをしているような音や、上に上がろうとして細くなってしまっている音や、下に下がろうとして必要以上に太い音や輪郭が

ぼやけてしまっているような音になっていたりしませんか？

もしそのような「いい音ではない状態」を見つけた場合、テンポを落とし、しっかりと真っ直ぐなロングトーンの音をつなげる（くっつける）イメージを持ってやってみてください。

上に上がるときも、下に下るときも同じです。

そして、音を変えるときに息の圧力がどのようになっているのか、舌の動き（動くタイミングや動く時間）をしっかりと観察してみましょう。

そのあと、少しずつテンポを上げていったり音を増やしていくと、リップスラーのときでもすべての音をいい音で演奏することができるようになりますよ。

編集後記

本文でも書きましたが、無事入院、手術を経て、退院して戻ってきました。

あっという間の入院生活でしたが、思っていた以上に毎日やりたいことがあって、「暇」と感じる事がほとんどありませんでした。・・・唯一そう感じたのは、術後すぐ、麻酔から目が覚めてから、一晩リハビリ室で過ごしているときですかねえ。

このときは、携帯電話も使えないので、手術が無事に終わったという連絡も家族にすらできなかったし、自分には点滴や管が付いているしで、なかなか時間が経ってくれなくて辛かったです・・・。

コロナ禍での入院、手術ということで、面会は家族でもできなくて（手術当日も）寂しいなあ、と思っていたのですが、いざそのときになってみると、自分のやりたいことが毎日いろいろとあって、毎日とても充実した時間を過ごすことができました。

オーケストラへの復帰は今年26日からなので、それまでは、これまで通り毎日慌てずじっくりとリハビリを続けていこうと思っています。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>